

## I 主張を読み取る

## 考え方

① 段落で示された数字は、「年間一七〇〇万トン、一人当たりに直すと約一五キロ」です。これは単純な数字ですが、これを「ご飯茶わん」で「約六十食分の食料」と説明し直すと、目の前にたくさんのお茶わんがならんだ光景がうかぶのではな
 いでしょうか。数字を身近なものに例えることで、実感しやすくしているのですね。アは「数値目標」を設定しているという点がまちがいで。また、「動かしがたい事実」ならば、最初の数字のみでも構わないので、イも不適切ですね。「張本人は自分たちである」という工の内容は問題文に合いますが、「身近な数字」を出す意図とは結びつきません。

筆者は①～②段落で、「食品ロス」の数値におどろいてほし
 い、といった話をしています。これは自分たちがすべている食品の量の「可視化」ということです。そこで、「可視化」の意図を考えると、「取り組み」「定着」であるとつかめます。もちろん、「食品ロス」を減らす取り組みのことですね。これらをまとめます。

## 1 ウ 答え

どれだけ食品をしてているか／食品ロスの減少

## 2 慣用句

## 考え方

① 慣用句とは、二つ以上の言葉が組み合わさって特別な意味を表す言葉です。一つ一つの言葉の意味だけでなく、文脈をふまえて考えましょう。

② 体の一部を使った慣用句は多いので、意味とともにしつかり覚えておきましょう。①は「考え方」から「頭」、③は「見分ける」から「目」、⑤は「聞く」から「耳」が連想できます。③ ⑤ 「らちが明かない」は、何かの事情で物事がはかどらない、問題がかたづかないという意味です。⑥「花を持たせる」は、相手を喜ばせるために、勝利や手がらなどをゆずるという意味です。

④ 「油を売る」は、むだ話をして仕事をなまけること、⑤「気が置けない」は、気を使わず打ち解けてつきあえることなので、この文脈に合いません。それぞれ「血のにじむ（よくな努力）」、「気が遠くなる（ような長い年月）」などがあてはまります。

## 3 答え

- |             |      |     |     |      |
|-------------|------|-----|-----|------|
| ④ ③ ② ① ① ウ | ② ア  | ③ イ | ④ オ | ⑤ エ  |
| ① 相づち       | ② 足  | ③ 目 | ④ 顔 | ⑤ らち |
| ① むね        | ② いき | ③ 水 | ④ 羽 | ⑥ 花  |

Z会 × ちびむすドリル

考える楽しさ  
を体験しよう！



かっこいい小学生になろう



## 3

複雑な心情を読み取る

## 考え方

**1** 圭介は、「なみなみならぬ決意」をいだいて懸命に練習したのに選手に選ばれず、「夢が今、くだけ散つた」状態なのですね。それなのに、笑顔をうかべています。しかしそれは「不自然な笑顔」です。その理由を、拓哉は次のように考えています。

圭介は、自分のことを気にして、おれが試合で活躍できなくなることをおそれているのだ。だからわざとおどけていい。

この内容を正しくおさえたのはイです。表情と気持ちが必ずしも一致していなことに注意しましょう。

**2** ②には「うれしい」「くやしい」「おこりたい」という三つの心情が書かれており、気持ちのみだれが読み取れます。問題文のはじめに「夢のよくな気持ちでユニフォームを受け取った」とあることから、選手に選ばれたことは「うれしい」のですね。しかし、「圭介のくやしさは、拓哉のくやしさ」であり、**1**で見たような不自然な笑顔で接する圭介に「かつとし」でしまっています。これらをすべておさえたのは**エ**です。

**2 1**  
エ イ

答え

Z会 × ちびむすドリル

考える楽しさ  
を体験しよう!

かっこいい小学生になろう



Z会の本

